

【中頓別】廃業した町内の公衆浴場「黄金湯」が「銭湯の日」の10日、5年ぶりに営業を再開する。町社会福祉協議会の保健師渡辺由起子さん(56)が、銭湯を通じて健康なまちづくりをしようと町から借り受けて運営する。8日午前10時から「復活祭」として、改修工事を終えて新しくなった浴場内部を披露する。(佐々木学)

ゆったりつかって健康づくりを

中頓別・黄金湯 5年ぶり再開



黄金湯は、1989年に町営の公衆浴場として開業したが、委託管理者の高齢化などを理由に2006年に営業を停止した。渡辺さんは十勝管内新得

町出身。札幌の病院で看護師、北広島市で保健師として勤務した。札幌に住んでいた08年、障害者雇用による地域再生の勉強会に出席するため中頓別を初めて訪

れた。その後、町が黄金湯を売りに出していることをホームページで知った。

浴場を営むことで実現し

黄金湯を再開する渡辺さん。のれんのイラストは町内のデザイナーが描いた

「下見すると建物はまだ新しく、このお風呂屋さんをやってみたいと思った」。昨年10月、中頓別へ独りで移り住み、保健師の仕事の傍ら、黄金湯の再開に向けて準備してきた。総事業費は700万円。自己資金と町からの補助、道内のNPO法人などで構成する「北海道地域再生推進コンソーシアム」の起業支援金を充てる。

「頑張ろうと思える銭湯に」

たいのは、健康増進の町づくり。「ゆったりくつろぎ『あすも頑張ろう』と思える、まちのお風呂屋さんにしたい」
来年春には保健師をやめ銭湯運営に専念する。将来は障害者雇用の場とするほか、燃料を灯油からまきに切り替え、地域に豊富な間伐材など木材資源を使うことで自然エネルギー活用を目指す。
来年3月末まで仮オープンとし、営業時間は午後6～9時、無休。料金は大人400円、中高生200円、小学生以下は大人同伴で無料。問い合わせは黄金湯 ☎01634・6・2300へ。

10日
保健師の渡辺さん運営